



## 2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	108,287	1.1	11,087	6.4	12,071	4.7	8,268	7.7
2018年12月期第3四半期	109,537	2.8	11,841	9.9	12,664	8.2	8,963	9.1

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 7,463百万円 (4.5%) 2018年12月期第3四半期 7,140百万円 (43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	62.82	
2018年12月期第3四半期	68.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	241,083	194,521	78.7
2018年12月期	241,164	191,296	77.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 189,761百万円 2018年12月期 186,419百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		14.00		14.00	28.00
2019年12月期		15.00			
2019年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期の第2四半期配当の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 1円00銭  
2019年12月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	0.7	16,000	2.5	17,000	2.3	11,700	8.2	88.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	131,996,299 株	2018年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	370,153 株	2018年12月期	366,613 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	131,627,915 株	2018年12月期3Q	131,632,836 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）の業績は、売上高は1,082億8千7百万円（前年同期比1.1%減収）、営業利益は110億8千7百万円（前年同期比6.4%減益）、経常利益は120億7千1百万円（前年同期比4.7%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82億6千8百万円（前年同期比7.7%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ① 基幹化学品事業

電解製品は、カセイソーダや次亜塩素酸ソーダの販売価格は正が寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、シンガポール子会社における一部製品の生産停止の影響や原料価格低下に伴う販売価格の値下がりなどから減収となりました。工業用ガスは、販売数量が減少し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は490億5百万円（前年同期比3.3%減収）となりました。

営業利益は、カセイソーダや次亜塩素酸ソーダの販売価格は正は増益要因となりましたが、工業用ガスの収益悪化などが利益を圧迫し、42億6千1百万円（前年同期比5.9%減益）となりました。

##### ② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、リチウムイオン二次電池向け製品やシーリング材用樹脂の増販などから増収となりました。アクリルオリゴマーは、国内での販売が堅調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、国内での販売価格は正などが寄与し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は219億9千万円（前年同期比0.9%増収）となりました。

営業利益は、減価償却費などの固定費は増加しましたが、アクリルポリマーの増販や高分子凝集剤などの価格は正が寄与し、28億7千4百万円（前年同期比21.1%増益）となりました。

##### ③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、国内販売はほぼ前年並みで推移しましたが米国市場における販売減少の影響などから減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤などの販売が減少し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は83億8千1百万円（前年同期比5.0%減収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤や海外における瞬間接着剤の減販に加え、海外市場での販売強化にかかる固定費負担が増加したことなどから、11億9千7百万円（前年同期比38.0%減益）となりました。

##### ④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、一部半導体向けの需要に停滞感がみられましたが液化塩化水素などの高純度無機製品の販売は底堅く推移し増収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の輸出が減少したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は60億8千8百万円（前年同期比1.1%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品の増販は増益要因となりましたが、無機機能材料の販売減少や減価償却費などの固定費負担の増加が利益を圧迫し、17億1千6百万円（前年同期比10.1%減益）となりました。

##### ⑤ 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、販売価格の是正が進みましたが販売数量が減少したことなどから減収となりました。建材・土木製品は、ほぼ前年並みとなりました。ライフサポート製品は、新製品投入などが寄与し増収となりました。エラストマーコンパウンドは、一部製品の販売数量が減少したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は199億4千6百万円（前年同期比1.1%増収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の価格は是正やライフサポート製品の増販は増益要因となりましたが、設備投資に伴う減価償却費が増加したことなどから、9億2千1百万円（前年同期比2.1%減益）となりました。

##### ⑥ その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は28億7千5百万円（前年同期比16.3%増収）、営業利益は1億1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、建設仮勘定の増加により有形固定資産の「その他」が増加しましたものの、「受取手形及び売掛金」および「現金及び預金」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ8千万円、0.0%減少し、2,410億8千3百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」および「未払法人税等」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ33億5百万円、6.6%減少し、465億6千2百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ32億2千5百万円、1.7%増加し、1,945億2千1百万円となり、自己資本比率は78.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の通商交渉が膠着化する中、中国経済の失速が鮮明となるなど景気減速感が強まりました。わが国経済は、雇用・所得環境は底堅く推移しましたが、輸出の減少などから製造業を中心に企業業績の見通しが下方修正されるなど、先行きに対する慎重な見方が増しました。また、原油やナフサ価格は、中東情勢の動揺などから、不安定な動きとなりました。

当第4四半期以降につきましても、世界経済は予断を許さない状況が続くと予想されており、わが国経済も景気後退への動きが強まると懸念されています。当社グループといたしましては、汎用製品につきましては引き続き事業環境の変化に適切に対処し利益の確保に努めます。ポリマー・オリゴマー製品につきましては、トウアゴウセイ・タイランドの稼働率をさらに高めます。また、高機能無機材料につきましては本年末には新たな出荷設備等が完成し、収益向上に資する予定となっています。一方、接着材料や無機機能材料など販売不振が続く高付加価値製品につきましては収益回復に向けた様々な布石を打ってまいります。

なお、2019年7月31日に修正発表いたしました2019年通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,676	30,487
受取手形及び売掛金	45,154	42,151
有価証券	46,000	44,000
たな卸資産	16,541	18,650
その他	1,531	1,408
貸倒引当金	△39	△37
流動資産合計	141,866	136,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,740	21,900
機械装置及び運搬具（純額）	23,624	24,202
土地	17,240	17,566
その他（純額）	5,478	9,241
有形固定資産合計	67,083	72,911
無形固定資産	640	724
投資その他の資産		
投資有価証券	27,792	26,620
退職給付に係る資産	1,514	1,719
その他	2,280	2,463
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	31,573	30,788
固定資産合計	99,297	104,424
資産合計	241,164	241,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,472	14,210
短期借入金	2,503	2,502
未払法人税等	2,864	854
引当金	19	805
その他	12,987	13,064
流動負債合計	34,847	31,438
固定負債		
長期借入金	9,189	9,110
退職給付に係る負債	153	152
その他	5,677	5,861
固定負債合計	15,020	15,123
負債合計	49,867	46,562
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,499	16,399
利益剰余金	139,682	144,134
自己株式	△296	△300
株主資本合計	176,771	181,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,307	7,482
為替換算調整勘定	1,617	1,394
退職給付に係る調整累計額	△277	△234
その他の包括利益累計額合計	9,647	8,642
非支配株主持分	4,876	4,759
純資産合計	191,296	194,521
負債純資産合計	241,164	241,083

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	109,537	108,287
売上原価	78,712	77,548
売上総利益	30,824	30,739
販売費及び一般管理費	18,982	19,652
営業利益	11,841	11,087
営業外収益		
受取利息	67	82
受取配当金	478	664
持分法による投資利益	196	189
為替差益	22	64
固定資産賃貸料	190	200
その他	98	183
営業外収益合計	1,054	1,386
営業外費用		
支払利息	68	71
環境整備費	72	218
遊休設備費	47	34
その他	43	77
営業外費用合計	232	401
経常利益	12,664	12,071
特別利益		
投資有価証券売却益	3	74
補助金収入	323	9
固定資産売却益	5	7
特別利益合計	332	91
特別損失		
固定資産処分損	79	58
関係会社株式売却損	5	—
特別損失合計	85	58
税金等調整前四半期純利益	12,912	12,105
法人税等	3,760	3,604
四半期純利益	9,151	8,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	231
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,963	8,268

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	9,151	8,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,967	△822
為替換算調整勘定	△75	△258
退職給付に係る調整額	31	43
その他の包括利益合計	△2,010	△1,037
四半期包括利益	7,140	7,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,977	7,263
非支配株主に係る四半期包括利益	162	199

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	50,693	21,803	8,822	6,021	19,721	107,063	2,473	109,537	—	109,537
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,801	921	140	37	16	3,917	2,956	6,873	△6,873	—
計	53,495	22,725	8,962	6,059	19,737	110,981	5,429	116,410	△6,873	109,537
セグメント利益	4,528	2,373	1,932	1,908	940	11,682	145	11,828	13	11,841

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	49,005	21,990	8,381	6,088	19,946	105,412	2,875	108,287	—	108,287
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,732	938	64	28	20	3,784	1,657	5,442	△5,442	—
計	51,737	22,928	8,446	6,117	19,966	109,196	4,533	113,730	△5,442	108,287
セグメント利益	4,261	2,874	1,197	1,716	921	10,971	101	11,072	15	11,087

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。